

# 小学校道徳科において自己の変容や成長に気付く児童の育成 —スタディ・ログ「DARS」を活用した振り返り活動を通して—

前橋市立荒牧小学校 樋澤 裕美  
令和5年度 前橋長期研修研究員

## 研究の概要

### 研究のねらい

学習履歴(スタディ・ログ)として作成した「DARS (Doutoku Accumulation (蓄積) Review (評価) Sheet)」を活用した振り返り活動を行うことで、自己の変容や成長に気付くことができるようになるか、実践を通して明らかにする。

<目指す児童の姿>

児童が自らの学びを振り返りながら、自己の変容や成長に気付く姿

## 手立て 「DARS」を活用した振り返り活動

「DARS」を基に、  
「学び方」や「道徳科での学び」について  
振り返る!

学期末や学年末に  
おける振り返り活動



道徳は、自分を見つめ直す大切な時間になった！

道徳の授業を通して、より相手のことを考えて行動できるようになった！

### スタディ・ログ「DARS」

一年間の振り返りを一覧して可視化できるシート

かけがえのない いわちを蓄積する 心	自然の大さを知り 自然保護を大切にする 心	美しいものや 美しいものに 感謝する 心	よりよく生きようと する人間として 生きる取り組む 心	自由を大切に し自然的公済 を進める物を する心	誠実に働く 生活する 心	自分の生きを 見直したりす ぎない心	兎所を改め 貢献の度す 心	より高い目標 へじむすや ようとする 心	真理を探求し ようとする 心
2	10	11	1	12	15	22	4	20	28
24			35	31		33			
19	34	21	27	14	32	26		30	29
6	17	9	23	16	7	25	5	8	3

学習者用端末で  
いつでも閲覧

道徳ノートの  
振り返りの記述  
を蓄積

道徳科  
「学び方」を学ぶ！

### 道徳科 オリエンテーション

色分けした  
「四つの視点」

内容項目を  
「○○の心」※  
と表記

テーマを掲げた連続的な学びを振り返り、  
「DARS」に蓄積する！

### ユニット学習※2における 振り返り活動

自分との関わりで学びを振り返り、  
「DARS」に蓄積する！

### 一単位時間における 振り返り活動

#### 【児童の実態】

- ・道徳科は、何をどのように学ぶのか分からぬ。
- ・自分との関わりで学びを振り返る児童が少ない。
- ・道徳ノートを学びの蓄積として捉えていない。

#### 【指導上の課題】

- ・何をどのように振り返るのか、児童が自らの学びを振り返るための工夫が必要である。

# 実践の概要

## 手立て「DARS」を活用した振り返り活動

「DARS」を作成し、三つの振り返り活動を位置付けました。

※道徳科オリエンテーションについては、年度当初に行なうことが望ましいが、本実践では、二期学年の始めに行いました。

特別の教科 道徳 小学校 第五学年	教材名 「真由、班長になる」 C-(16) よりよい学校生活、集団生活の充実	(日本文教出版)	「名前のない手紙」 C-(13) 公正、公平、社会正義	「折れたタワー」 B-(11) 相互理解、寛容
-------------------	--	----------	-----------------------------	-------------------------

9月

10月

11月

12月

オリエンテーション  
道徳科

学期末における  
振り返り活動

### 一単位時間における振り返り活動

C-(16)  
よりよい学校生活、  
集団生活の充実

C-(13)  
公正、公平、  
社会正義

B-(11)  
相互理解、  
寛容

ユニット学習  
のまとめ

ユニットテーマ「いじめについて考えよう」

ユニット学習における  
振り返り活動

### 道徳科 オリエンテーション

児童が道徳科の学び方について見通しをもてるようにしました。

#### 四つの視点

友達や周りの人たちと一緒に生活していくために大切な「心」について考えていきましょう

「四つの窓」のそれぞれに、どんな「心」があるか見てていきましょう



#### 学び方と約束

友達の考え方をしっかりと聞きましょう

自分の気持ちや考え方、友達に伝えましょう

- ①気付く
- ②考える・深める
- ③見つめる・生かす

#### 交流の演習

ば、  
可能性は無限大



#### 「DARS」の説明

道徳ノートに書いた振り返りを「DARS」に蓄積していきます。それぞれの「心」について自分がどのように考えたか、振り返ることができます。家族に学習した「心」について話すこともできます。



### 一単位時間における 振り返り活動

児童にとって充実した振り返りにするために、「何が分かり、何が変わったのか」自身の変容や成長を実感しやすい展開を工夫するとともに、「振り返りの視点」を提示しました。

#### 「折れたタワー」での実践

##### 導入

前時を振り返り、本時に学習する「心」を確認し、問題意識をもてるようにしました。

「DARSを見てみましょう。  
「広い心」について考えて  
いきましょう。  
「広い心」をもっている人は  
どんな人だと思いますか。



##### 展開

道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度振り返る過程を大切にしました。

##### 【発問の工夫】道徳的価値のよさや意義を直接問う

許すことができたひろしまは広い心  
をもっていると言えますか。  
広い心をもっている人はどんな考  
え方ができる人でしょう。

広い心をもつ  
よさは何だろう

##### 【板書の工夫】対比できるよう分けて板書する



##### 終末

教材から離れて自分の体験等を想起しながら、学んだ道徳的価値について自分の生活と結び付けて振り返れるようにしました。

##### 振り返りの視点

○今までの自分（今までには（も）、～）

○今日の授業（今日の学習では、～）

\*気付いたことや学んだこと、考えたこと

○これからの自分（これからは、～）

\*大切にしたい考え方

あなたは、○○するために、どんなことをしていきたいですか。



- ・ 今までは、広い心をもっている人はまだ優しい人と思っていた。
- ・ 今日の授業で、ただ優しくではなく、相手のことを考え、これからのことを考え、安心して生活できる方を選んだりして後のことを考えられる人のことだと思いました。
- ・ これからは、自分も広い心ということを理解しながら生活していきたいです。

（児童の振り返り）



## ユニット学習における振り返り活動

児童がより自分事として考えられるようにするために、児童の問題意識に基づくテーマについて、それぞれの内容項目と関連付けて授業を行いました。

テーマを設定し、テーマに即した三つの教材を組み合わせました。「ユニット学習のまとめの時間」では、「DARS」を見返しながら、もう一度テーマについて考える時間を設けました。

### テーマ いじめについて考え方

1時間目 「よりよい学校生活、集団生活の充実」

2時間目 「公正、公平、社会正義」

3時間目 「相互理解、寛容」

4時間目 ユニット学習のまとめ、振り返り

### テーマ いじめについて考え方

#### 【ユニット学習前の児童の記述】

いじめている人には絶対になりたくない。できればいじめを止めてあげたい。

#### 【ユニット学習後の記述】

いじめはいけないことだということが本当によく分かった。またささいなこともいじめになるということも理解できた。いじめが起きたときには、観衆はもちろん傍観者にもなりたくない。仲裁者となっていじめを止めたい。これからは小さなことを根にもたないで、広い心で仲がよいクラス、学年、学校にしていきたい。

テーマについて、様々な角度から捉えて考えていたり、登場人物の行動をこれからの自分の生活に生かそうとしたりしている。

三つの教材の内容を踏まえ、登場人物を「いじめの四層構造」の中に位置付ける。



左図を架空のクラスと仮定し、想定されるいじめに対し、自分だったらどうするか考える。



「DARS」を見返しながら、テーマについて自分の考えをまとめる。



この時間に、今まで学んできたことを総復習することで、学んだことがどれだけ大切だったかを思い起こせました。  
道徳では人間関係で大切なことを学べます。時々振り返ってみて学んだことを生かせているか考えてみたいと思いました。  
(「ユニット学習のまとめの時間」後の児童の感想)

## 学期末や学年末における振り返り活動

「DARS」を基に、学び方や学習した道徳科での学びが生活の中でどのように生かされているか、意識したり成長したりした心について振り返る時間を設けました。

### 学期末の振り返り活動の流れ

① 二学期始めに書いた自分の目標に照らし合わせ、キャリアパスポートの「なりたい自分に近づけたか」について振り返る。

② 道徳科を含めた二学期の様々な学習や生活について振り返る。

「DARS」を見返しながら、自分がどのような「心」について意識して生活できたか、自分が成長したことなどと思うことはどんなことかなど道徳科の学習を振り返る。

④ キャリアパスポートの「自分が成長したこと」を振り返る。

### キャリアパスポート

①

○なりたい自分にどれだけ近づけたか、ふりかえりましょう。

(学年面)  
アシストとか、よく見直しました。

(生活面)  
友達とよく遊びました。

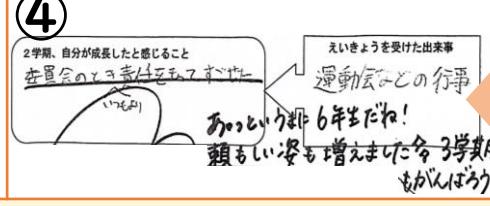
(家庭・地域)  
行事にも参加できました、交流もしました。Good!

(習い事・資格)  
ピアノを毎日やっています。

②

2学期、どのくらいできましたか	よくできた	できた	すこしだけできた	あまりできませんでした
①友達や家の人の話を聞くとき、その人の考え方や気持ちを考えることができますでしたか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②自分の考え方や気持ちを、相手にわかりやすく伝えようと思う気持ちができますか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
③自分の感情を抑えたり、自分の短所に気付いていたりして、自分自身をよくよく見えよううできますか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
④愛着、係、当番活動などで、自分が仕事を見つめ、力を合わせて行動することができますか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑤好きでないことや苦手なこともあります。自分から進んで取り組むことができますか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑥調べていてや知りたいことがあります。自分が進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりできましたか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑦何かをするとき、計画を立てて進めることができましたか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
⑧自分の夢や目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫できましたか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

④



### 二学期の道徳の振り返り

【道徳科の学びについて振り返ろう】

☆道徳科で、一生懸命に考えることができましたか。(○○△△)

☆道徳科で、「自分だったら」と思ひながら、考えましたか。(○○△△)

☆道徳科で、自分の考えを伝えられましたか。

☆道徳科で、友達の考え方をよく見ましたか。

☆道徳科で、友達の意見を聞いて、考え方を学びましたか。

☆道徳科で、できるようになったことで、頑張ったことをくわしく書きましょう。

去年よりも、友達と自分の考え方、両方がそんちうできるようになったと思う。また、やさしさやいじめについて、いろいろしていましたと思う。

他の人の考え方をきくようになれた。

去年よりも、友達と自分の考え方、両方がそんちうできるようになったと思う。また、やさしさやいじめについて、いろいろいましたと思う。

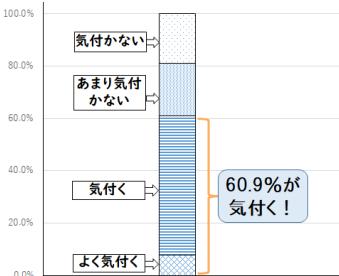
他の人の考え方をきくようになれた。

# 検証

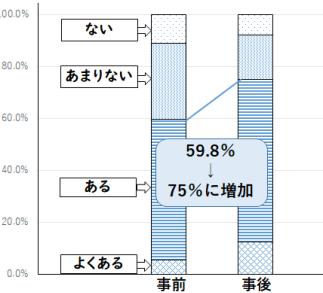
自らの学びを振り返りながら、自己の変容や成長に気付く児童の姿に近づくことができたか以下の方で検証しました。

## 児童アンケートの結果

### Q1 「DARSを見返すと自分の成長に気付くか」



### Q2 「道徳の授業を通して、自分が成長したと思うことがあるか」



### 【Q2の理由】

#### 「よくある・ある」の理由

・友達の気持ちを考えて発言や行動ができるようになったから。

・人に優しくできるようになったと言われたから。

・道徳の授業で学んだことを生活に生かせたから。

「ない」の理由 ① わからない、成長した心あたりがないから。

### DARSについての自由記述(回答人数64人)

・後からいつでも見返せる	操作性
・貼るのが簡単	
・自分の考えをまとめて見られる	視認性・振り返りやすさ
・過去の振り返りが4種類ごとに分かりやすく見えた	
・自分がよく分かった	自己の気付きや成長
・自分の成長や足りないところに気付いた	
・四つの窓がうまっていくのが面白い	
・大事なことを思い出せる	その他
・今まで学習した全てがつまつていて、思い出のようになった	
・生かせていない、あまり見ていない	

「DARS」について、肯定的な回答をしている児童が55名いました。一方、9名が「活用できていない」と回答しました。この9名は、Q1、2において否定的に回答していることが分かりました。「DARS」を見返すことの意味やよさを感じられるような支援が必要であると考えます。

### 教員の事後アンケートの記述

- 児童も「四つの視点」によって「内容項目」を分かりやすく振り返ることができた。
- 自分が学習してきたことが目に見えて分かるので、達成感を感じるし、すぐに振り返ることができた。
- 「DARS」は、一年間でどんなことについて考えを深めてきたのかが分かるので良いと思った。
- 「DARS」は、道徳以外でも活用できればさらに有効であると思う。
- 道徳科オリエンテーションにより、道徳科で何を学ぶかが明確になったことで、児童の学習意欲が高まった。
- ちょうど良い時期に、児童の実態に即した内容をテーマにしたユニット学習を行ったことで、子供たちも自分事として考え、友達を大切にできる児童が増えていくことを実感した。
- 一単位時間の授業の中で、振り返り後に「DARS」に蓄積する時間を確保することが難しい。
- 「DARS」によって、児童の変容や成長が見られたという記述が多く、一定の成果があったと考えます。さらに、児童が日常生活とつなげて活用できるようにする工夫が必要であると考えます。

## 抽出児の変容

「道徳科の授業を通して、自分が成長したと思うことがあるか」の設問で、実践前には「あまりない」と回答したA児の変容について示します。

### アンケート結果

#### Q1 「DARSを見返すと自分の成長に気付くか」

##### 「気付く」

理由「最初と最後を比べると自分の意見が増えているから」

#### Q2 「道徳の授業を通して、自分が成長したと思うことがあるか」

##### 事前 「あまりない」

理由「ちょっとだけ変わったこともあったけれど、どちらかと言うとあまりない」

##### 事後 「ある」

理由「今までの自分の考えが改まったから」

振り返り活動		A児の記述内容
ティアリエンテーション	に学び方	今まででは、道徳は生かせることが自分にはなかった。今日の授業で、道徳で窓が4個もあるのが分かった。これからは、次から生かせるように自分の考えを考え直す。
一単位時間	手紙のない学習後	今まででは、ほとんど仲がよい人と話していた。今日の授業で、あまり話していない人と話せば、仲よくなつていじめがなくなると思った。これからは、色々な人と話して仲よくなりたいと思った。①
学習前	ユニット学習	【いじめについてどのように考えているか】人の気持ちを考えないで相手のことを勝手に傷つけるからいじめが起こる。
学習後	ユニット学習	今まででは、いじめについてあまり考えなかった。いじめについて学習して、それぞれ違う考えがあったから、いじめのことがもっと詳しく分かるようになった。吉野さんやまさるのようにいじめをなくせるようにしたい。これからはいじめがないように自分が思っていることを友達に伝えられるようにしていきたい。
二学期末	ついて方	私は、友達の意見や自分の意見を大切にして話し合えた。そして、友達の意見を聞くときに、しっかりと反応ができた。友達の意見を参考にして自分の考えが広がった。②
ついて方	ついて心に	周りの人親切にして、お互いにたより合うようにする。自分が今までできなかったことでも、友達がアドバイスなどをしてくれたおかげで、少しうまくできるようになった。自分も勉強を教えてあげたりして、親切にできた。③
成長分岐した心	相手の立場に立ち、親切にする心	④

・一単位時間の振り返りを「振り返りの視点」に沿って行ったことで、児童が学習内容を自分事として考えることができました。①

・道徳科の授業において、どのように学んできたかを振り返る記述が見られました。②

・二学期末の振り返りで、自分の成長を「人との関わり」において感じることができました。③④

## 成果と課題

○ 「DARS」を用いて振り返り活動を行ったことは、自分との関わりで記述した振り返りを蓄積でき、児童が自分の学習状況を把握しやすくなり、自己の変容や成長の気付きにつながった。また、道徳を学ぶ意義の理解にもつながった。

◇ 「DARS」の活用方法を工夫し、学校だけではなく、家庭との連携を図り、児童が道徳科での学びを日常生活につなげることができるようになる。

◇ 行事や他教科との関連を図るなど、意図的に「DARS」の活用場面を設定していく必要がある。